

- 大阪市は、森林を保有していないことから、大消費地として木材利用の拡大や普及啓発活動をとおして、森林整備の促進を間接的に支援してまいります。
- 令和6年度においては、次世代を担う世代が木材に触れ合うことを目的に、新大学キャンパスのエントランス部分の木質化を実施しました。
- また、区役所や本庁舎といった市民利用施設において、利用者が身近に木のぬくもりを感じられるよう窓口カウンター、椅子、屋外ウッドデッキ等の整備を実施しました。

□ 事業内容

国産木材を活用した区役所庁舎整備事業（施設名 東住吉区役所）

- ・ 木材利用の促進・普及啓発の取り組みの一環として、来庁者の快適性の向上および国産木材を身近に感じてもらう機会の提供に繋げるため、区役所庁舎内の来庁者スペースの什器（記載台や椅子）に国産木材を利用したものを導入した。

【事業費】29,249千円（うち譲与税29,249千円）

【実績】総合案内カウンター、ベンチ、記載台、パンフレットラック等



□ 事業スキーム

- ・ 制限付一般競争入札

□ 工夫・留意した点

- ・ すべての什器を刷新するのではなく、既存のカウンターも活用しながら木質化を図った。
- ・ 来庁者が直接触れる機会の多い什器を木質化し、国産木材をより身近に感じてもらえるようにした。



□ 基礎データ

①令和6年度譲与額：337,851千円	②私有林人工林面積（※1）：0.00ha
③林野率（※1）：0.00%	④人口（※2）：2,752,412人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より